

参考資料

各地の不法投棄監視システム導入事例

2005年8月4日

1. 監視カメラを用いた不法投棄監視システム事例

目的

- ・不法投棄が頻発する場所の集中監視
- ・24時間365日の連続無人監視
- ・不法投棄の抑止効果
- ・不法投棄状況のデジタルな記録とリアルタイムな情報共有

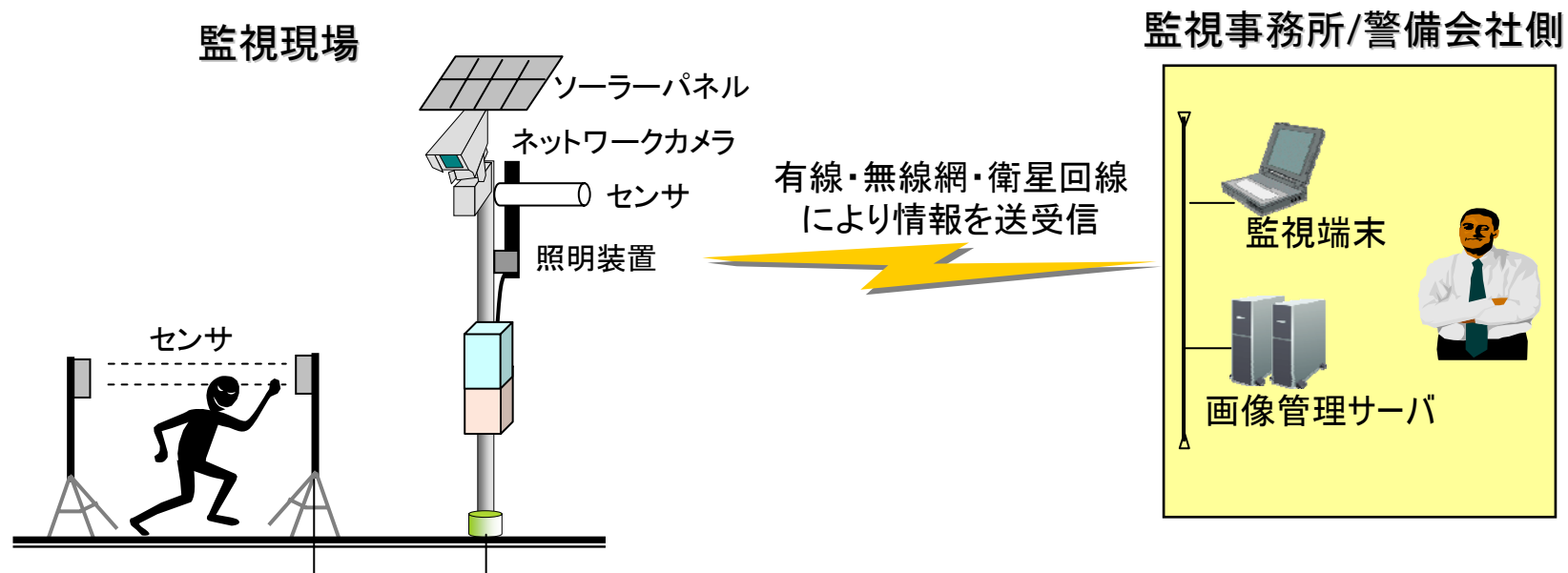
概要

- ・不法投棄が頻発する地域に設置(固定設置／移動タイプあり)
- ・センサーで不審者や車などを感知すると、自動的にカメラが画像を撮影し、管理サーバに伝送
- ・設置場所により電源の確保や通信回線の確保が難しい場合もあるため、ソーラーパネルタイプや公衆無線網(PHSなど)を利用するタイプもある
- ・最も古くから不法投棄監視に利用されている形態であり、導入事例は全国多数

主な機能

- ・現場の記録(映像・画像)
- ・警報出力(音声ガイド)
- ・回転灯
- ・管理センター通知

システムイメージ



導入事例

- ・岐阜県 … 衛星回線を経由して警備会社が監視カメラを遠隔操作
- ・埼玉県戸田市
- ・大阪府東大阪市 など多数の自治体で導入済み

2. 携帯型端末を用いた不法投棄監視システム事例

目的

- ・不法投棄監視員の情報武装
- ・山間部等の位置特定が困難な不法投棄場所の位置把握
- ・不法投棄状況のデジタルな記録とリアルタイムな情報共有

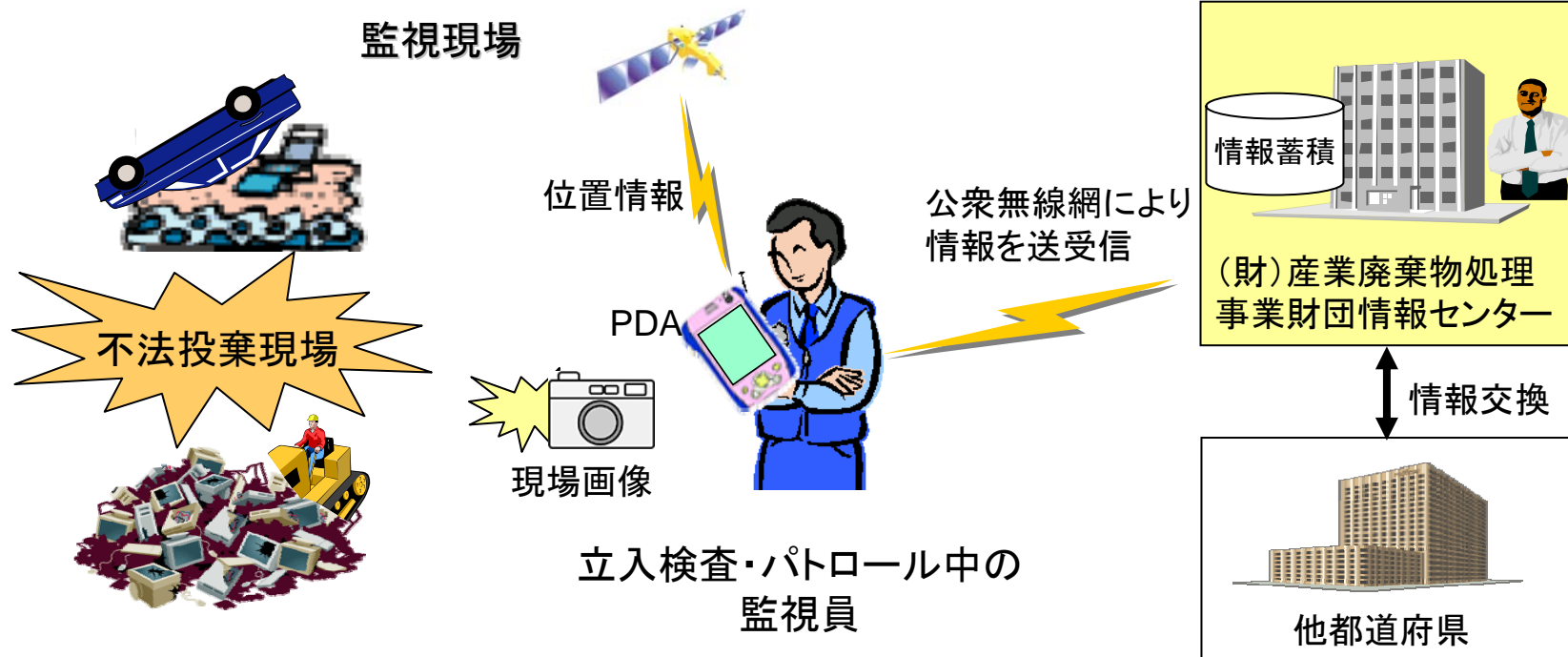
概要

- ・不法投棄監視員にGPS・デジタルカメラ機能を有する携帯型端末(PDA)を活用した「不法投棄監視システム」を携帯させる
- ・GPS、カメラなどで収集した投棄情報を、携帯型端末(PDA)から公衆無線網によりサーバ側に送信する
- ・サーバ側にアップされた情報は、本庁・各地区行政センターに設置したPC上でリアルタイムに確認することができ、不法投棄等に対する迅速かつ的確な対応をとることが可能
- ・(財)産業廃棄物処理事業振興財団が中心になり事業推進

主な機能

- ・投棄現場のデジタルな記録(位置・画像・時間・事象概要など)
- ・管理センター通知
- ・(センター機能:投棄情報のマッピング)

システムイメージ



導入事例

- ・千葉県、静岡県、栃木県、茨城県、福島県、神奈川県などで導入済み

3. RFIDを用いた廃棄物移動監視システム事例(アサヒビール)

目的

処分委託した産業廃棄物の適正処分状況の追跡監視

概要

- ・アサヒビールは、再利用できない廃棄物(再利用できない廃プラスチック)の処分を業者に委託しており、委託した廃棄物が適正に処分が行われているかどうかを追跡監視する実証実験を2004年より実施中
- ・茨城工場内から排出される廃棄物(再利用できない廃プラスチック)を圧縮梱包してICタグを添付
- ・排出元から中間処理までの各拠点にICタグリーダ・ライターを設置しICタグを読み取る
- ・37企業・団体から構成されるMATICコンソーシアムとの共同実験であり、2005年度より事業化を検討

主な機能

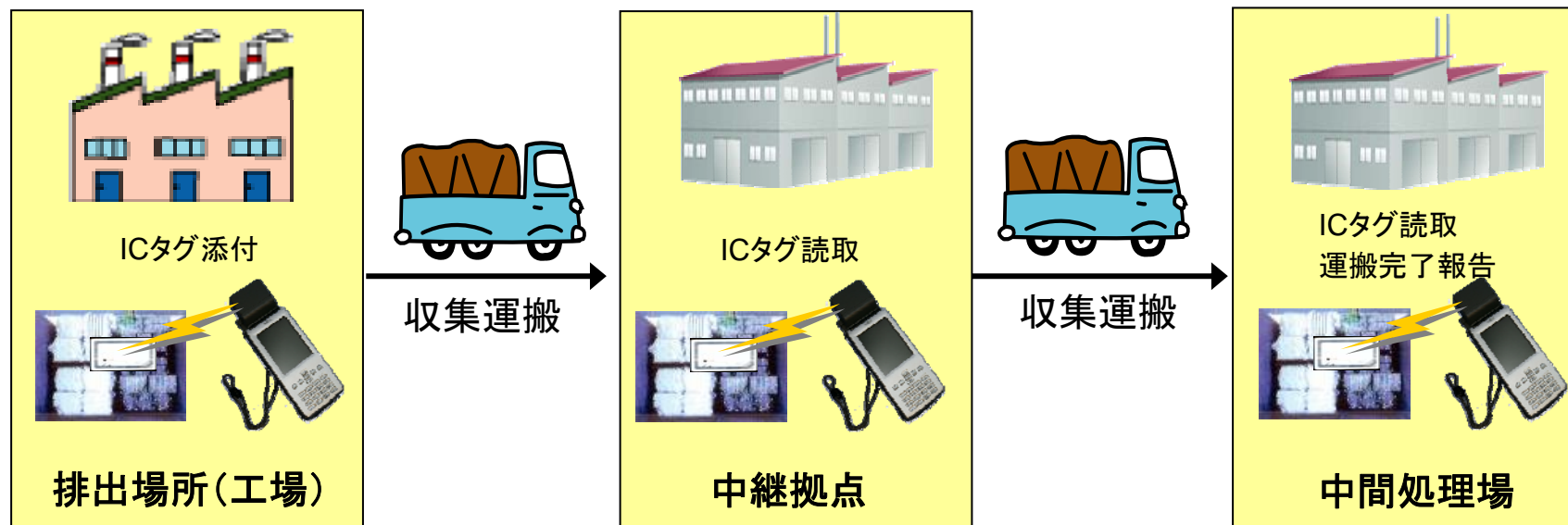
- ・移動追跡管理(位置・時間)



圧縮された廃棄プラスチックブロックの写真
廃棄プラスチックを圧縮機で圧縮梱包し、梱包ブロック単位でICタグを貼付している

出典: <http://www.asahibeer.co.jp/csr2005/report/eco39.html>

システムイメージ



導入事例

- ・呉羽総合病院など医療機関